

『説文解字繫伝』 卷二十五 (一) —『古今韻会挙要』による復元の試み—

住谷芳幸

岐阜女子大学文化創造学部

(2017年8月30日受理)

“*Shuo wen jie zi xi zhuan*” Vol. 25 (1) —The attempt of restoration by “*Gu jin yun hui ju yao*”—

Department of Cultural Development, Faculty of Cultural Development,
Gifu Women's University, 80 Taromaru, Gifu, Japan (〒501-2592)

SUMIYA Yoshiyuki

(Received August 30, 2017)

はじめに

永元十二年(100)の「叙」を付す『説文解字』(以下『説文』とする)は、許慎が著した漢字の字書であり、現存する漢字の字書としては中国最古のものである。もっとも、原本『説文』は現存せず、唐鈔本の残簡が現存する最古の『説文』である。『説文』全体として現在まで伝わるものとしては、宋代に徐鍇と徐鉉とがそれぞれに校訂した、小徐本と大徐本と通称される『説文』がある。このうち、小徐本すなわち『説文解字繫伝』(以下『繫伝』とする)の卷二十五は早くから失われており、現存の『繫伝』ではその部分を大徐本によって補っている。ただし、元代に熊忠により撰述された『古今韻会挙要』(以下『韻会』とする)は、黄公紹により撰述された『古今韻会』を「挙要」したものであるが、『繫伝』が引用されており、『韻会』を参照することにより、『繫伝』卷二十五もある程度は復元できるようである⁽¹⁾。また、『韻会』を利用した『繫伝』卷二十五に関する論

考もある⁽²⁾⁽³⁾。それぞれに『韻会』からの引用を示すが、その引用箇所は必ずしも明示されてはいない。そのため、内容の吟味以前に引用の確認に時間がとられる結果となる。論文の公開が、知識の共有を目的とするものであるならば、各種データへのアクセスを容易にすることも重要な作業と考えるが、いかがであろうか。

ところで、筆者は『繫伝』の索引を作成した⁽⁴⁾が、その過程で『繫伝』と『韻会』との対応関係を確認する必要があったため、それについての簡単なデータを作成した。そのデータに、新たなデータを付加することにより、『繫伝』卷二十五と『韻会』との対応関係を明らかにできそうに思われた。もっとも、『繫伝』卷二十五の復元については、「祁本のあとに附いている『校勘記』で大体のところが済んでいる⁽⁵⁾」との見方もある。ただし、「その考えに筆者は必ずしも同意できない。」⁽⁶⁾との意見もある。そこで、以下に示すような『繫伝』卷二十五と『韻会』との対応関係を示すデータを作成した。小論の筆者は、

従来から超漢字による電子化データを作成し、インターネット上に公開してきた。ただし、今回のような印刷した資料として公開することにも幾何かの意義もあろうと考え、あえてこのような形で公表するとした。また、紙幅の関係上、今回は九丁表三行目までの糸部のみとし、以下については次号に掲載を予定している。

なお、『繫伝』としては、中華書局刊『説文解字繫伝』⁽⁷⁾所収の祁寯藻本影印を用いた。中華書局刊『繫伝』252頁から260頁までが、巻二十五である。また、『韻会』としては、中文出版社刊『古今韻會舉要』⁽⁸⁾所収の光緒九年十月淮南書局重刊本影印を用いた。

データ化の基本方針

『繫伝』のデータ化にあたり、『繫伝』本文そのままでは『韻会』との対応関係を表示しにくい。そこで、大徐本の「一篆一行本」にならない、親字とその注記を「一行」⁽⁹⁾として、その「一行」に『韻会』の項目を対応させた。なお、親字の異体字である重文とその注記は、親字とは別に「一行」とした。これは、親字ではなく、その重文が『韻会』の掲出字となっている場合があることによる。ただし、このように「一行」とした場合、改行等の原本での体裁は示せない。このことは、所在確認のためには障害になるように思われる。そのため、原本の体裁を示すことを含めて、次のような方針を採った。

- (1) 各半丁のはじめを(01オ)等を入れることで示した。
- (2) 「一行」の注記が半丁の変わり目を越えて記されていることがあるが、その場合、注記中に(02オ)等を入れて変わり目の位置を示した
- (3) 上記の場合、変わり目を目立たせる

ため、次の親字も前にも(02オ)等を入れた。

- (4) そのため、(02オ)等の表示は、注記中の変わり目の表示以外では、実際と変わり目と異なる場合もある。
- (5) 改行、すなわち行末を||で示した。
- (6) 双行の注記部分を《》で括って示した。
- (7) 双行の注記部分での改行、すなわち右行注記末を|によって示した。
- (8) 巻二十五以外から引用した場合、その親字の中華書局刊『繫伝』での所在を、末尾に頁数、巻数、丁数、表裏、行数の順で示した。

『韻会』のデータ化にあたり、次のような方針を採った。

- (1) 『韻会』の注記であることを示すために、行頭に◎○を付した。
- (2) ◎は注記中に〔説文〕の文字が含まれていることを示す。
- (3) ○は注記中に〔説文〕の文字が含まれていないことを示す。ただし、〔説文〕の文字は含まないものの、『繫伝』からの引用かと思われる注記もある。
- (4) 改行、すなわち行末を||で示した。
- (5) 双行の注記部分を《》で括って示した。
- (6) 双行の注記部分での改行、すなわち右行注記末を|によって示した。
- (7) 注記の最初にある反切等の音注は、…として省略した。
- (8) 紙幅の都合上、〔説文〕の引用以外は、…として省略した部分も多い。
- (9) ただし、…として省略した部分については、『繫伝』からの引用ではないと主張するわけではない。
- (10) 同様に、…として省略しなかった部分についても、『繫伝』からの引用であると主張するわけではない。

- (11) 掲出字の中文出版社刊『古今韻會舉要』での所在を、末尾に頁数、巻数、丁数、表裏、行数の順で示した。
- (12) 末尾の漢字・反切は、それぞれの掲出字が属する小韻の代表字と、その代表字に付された反切である。

データ化にあたり、使用する漢字について、次のような方針を採った。

- (1) MS-Windows で表示可能な文字を出るだけ使用した。
- (2) ただし、表示可能なすべての文字を確認したわけではない。
- (3) 表示できない文字に関しては、漢字二字を [] {} に入れ表示した。
- (4) [] は横並び（例 [土亞] = 埡）を、{} は縦並び（例 {亞土} = 塹）を示す。
- (5) 漢字三字以上で表示可能な文字もあるが、それは用いなかった。
- (6) 上記でも表示できない文字は、作字した（と思う）。
- (7) なお、従来通りの超漢字大漢和辞典収録文字によるデータを <http://www.gijodai.ac.jp/user/sumiya/> 以下で公開している。できれば、そちらを参照願いたい。

『説文解字繫伝』巻二十五

01 𦉰

説文解字《宋王伯厚玉海云繫傳舊缺二十五 | 卷今宋鈔本以大徐所校定本補之》 ||

||

銀青光祿大夫守右散騎常侍上柱國東海縣開國子食邑五百戶臣徐鉉等奉 ||

敕校定 ||

||

𦉰《細絲也象束絲之形凡𦉰之屬皆從𦉰讀若睨

徐 | 錯曰一蠶所吐爲忽十忽爲絲絲五忽也莫狄切 ||

○なし。

参照・◎絲《〔説文〕絲蠶所吐也从二 | 𦉰 𦉰音覓一曰一蠶爲 || 忽十忽爲絲 | …》，57, 2, 29, o, 2, 思・新茲切

𦉰《古文 | 𦉰》

○なし。

繭《蠶衣也從𦉰從 | 虫𦉰省古典切》

◎繭《・〔説文〕繭蠶衣也从𦉰虫𦉰省聲 | 本作繭今省作繭又繭繭猶綿綿也聲容微貌〔禮記〕 || 色容繭繭〔説文〕 | 古作〔親〕俗作〔蠶〕》，263, 14, 1, o, 3, 繭・古典切

親《古文繭 | 從𦉰見》

◎繭《〔説文〕 | 古作〔親〕》。見上。

繅《繅繭爲 | 絲也從 || (01ウ) 𦉰巢聲 | 穌遭切》

◎繅《〔説文〕繅繭爲絲从𦉰巢聲 | 集韻…》，148, 7, 12, u, 3, 騷・蘇曹切

01 ウ

繹《抽絲也從𦉰 | 畢聲羊益切》

◎繹《〔説文〕抽絲也从𦉰畢聲〔廣韻〕…》，469, 28, 34, o, 1, 畢・夷益切

緒《絲耑也從𦉰 | 者聲徐呂切》

◎緒《〔説文〕絲耑也从𦉰者 | 聲〔增韻〕又基緒統系 || 也又 | 姓》，235, 12, 7, u, 8, 敘・象呂切

緬《微絲也 | 從𦉰面 || 聲弭 | 沈切》

◎緬《・〔説文〕微絲也从𦉰面聲〔廣 | 韻〕…》，266, 14, 8, o, 8, 緬・彌亮切

純《絲也從𦉰屯聲論語 | 曰今也純儉常倫切》

◎純《・〔説文〕絲也 | 从𦉰屯聲引論語今也純儉又全 || 也粹也易純粹精也董仲舒傳抑抑純儒〔廣韻〕…》，100, 4, 28, o, 6, 純・殊倫切

綃《生絲也從𦉰 | 肖聲相幺切》

◎綃《〔説文〕生絲繪从𦉰肖聲一曰綺屬〔魯

詩注〕 | 繡也或作〔縵〕〔禮記〕檀弓…》，

136, 6, 23, o, 5, 宵・思邀切

〔糸皆〕《大 | 絲 | 也從糸皆 | 聲口皆切》

○〔糸皆〕《大絲 | 也》，92, 4, 11, o, 4,

措・丘皆切

紉《絲曼延也從糸 | 〔𠂔〕 聲呼充切》

○なし。

〔糸气〕《絲下也從糸气聲春 | 秋傳有臧孫紇下沒 | 切》

○紇《〔說文〕絲下也从絲气聲引春秋傳有臧孫紇又虜複姓 | 三氏北齊開封紇奚永樂又紇干氏紇骨氏又虜三字 | 姓後魏有賊帥 | 紇豆陵伊利》，437, 26, 28, o, 4, 麤・下沒切

〔糸氏〕《絲滓也從糸 | 氏聲都兮切》

○なし。

絳《繭滓絳頭也一日以囊絮 | 練也從糸圭聲胡卦切》

○絳 || 《〔說文〕繭滓絳頭也一日以囊 | 絮練也〔增韻〕絲結也○今增》，343, 2, 3, u, 8, 畫・胡界切

〔糸樂〕 || 《絲色也從糸 | 樂聲以灼切》

○なし。

繅《箸絲於 {竹孚} 車也從 | 糸崔聲穌對切》

○なし。

經《織也從糸至 | 聲九丁切》 ||

○經《…〔說文〕機縷又織也从糸至聲一日書 | 也〔釋名〕…》，183, 9, 1, o, 3, 經・堅靈切

織《作布帛之總名也 | 從糸戠聲之弋切》

○織《〔說文〕作布帛之總名也从糸戠聲〔爾雅〕…》，475, 29, 10, o, 7, 職・質力切

〔糸式〕《樂浪挈令織從糸從式臣鉉 | 等曰挈令蓋律令之書也》 ||

○なし。

紕《機縷也從糸 | 壬聲如甚切》

○紕《機縷也〔禮記〕女子姆教以治〔糸系〕泉織紕又 | 〔詩〕采蘋注繪帛屬集韻或作〔任

糸〕 | 亦作〔紕〕○ || 禮韻舊 | 出〔任糸〕字》，

206, 10, 7, o, 4, 壬・如林切

〔任糸〕《紕或 | 從任》

○なし。

綜《機縷也從糸 | 宗聲子宋切》

○綜《…〔說文〕機 | 縷也从糸宗聲三蒼云

綜 || 理經也謂機縷特絲交 | 者屈伋制經令得開合》，306, 17, 7, u, 6, 綜・子宗切

絡《緯十 | 縷爲 || (02才) 絡從糸咎聲讀 | 若桺力久切》

○なし。

02才

緯《織橫絲也從糸 | 韋聲云貴切》

○緯《〔說文〕織橫絲也从糸韋聲 | 從曰經橫曰緯緯在杼經 || 在柚又〔家語〕…》，320, 18, 4, u, 1, 胃・于貴切

緡《緯也從糸軍 | 聲王問切》 ||

○緡《百羽也一 | 曰十羽謂 || 之緡…》，

110, 5, 8, u, 4, 昆・公渾切

○緡《十羽謂之 | 緡一日百 || 羽…》，113, 5, 13, o, 2, {云鬼}・胡昆切

○緡《〔爾雅〕百羽爲緡 | 或作縛…》，256, 13, 15, u, 5, 袞・古本切

○緡《束羽也…》，257, 13, 17, u, 6, 混・戶袞切

績《織餘也從糸 | 貴聲胡對切》

○績《〔說文〕織餘也一日畫 | 也从糸貴聲或作〔繪〕 || 〔論語〕繪事後素通作〔會〕〔書〕…》，347, 20, 11, o, 5, 潰・胡對切

統《紀也從糸充 | 聲他綜切》

○統《…〔說 | 文〕紀也从糸充聲一日攝 | 理也〔廣韻〕…》，306, 17, 7, u, 2, 統・他綜切

紀《絲別也從糸 | 己聲居擬切》 ||

○紀《〔說文〕絲別也从糸己聲〔禮記〕…》，219, 11, 9, u, 5, 己・苟起切

緇《鶉類也從糸 | 強聲居兩切》

◎緇《…〔説文〕捫類也从糸 | 强聲〔廣韻〕
…》，283, 15, 16, o, 8, 緇・舉兩切
類《絲節也从糸 | 〔米頁〕聲盧對切》
◎類《…〔説文〕絲節也 | 又疵也〔唐〕李
遜傳…》，347, 20, 11, u, 2, 類・盧對切
給《絲勞即給從糸 | 台聲徒亥切》 ||
◎給《〔説文〕絲勞即給从糸台聲一曰 | 纏
也〔増韻〕…》，251, 13, 5, u, 2, 待・
蕩亥切
納《絲溼納納也從 | 糸内聲奴荅切》
◎納《…〔説文〕絲溼納納也从 | 糸内聲一
曰入也〔増韻〕…》，486, 30, 9, o, 3, 納・
諾合切
紡《網絲也从糸 | 方聲妃兩切》
◎紡《〔説文〕網絲也从糸方聲〔廣韻〕…》，
282, 15, 13, o, 1, 紡・撫兩切
絶《斷絲也从糸 | 從刀從口情 || 雪 | 切》
◎絶《… || 〔説文〕斷絲也从糸从刀从口〔廣
韻〕… | …古作𦉰反𦉰爲 || 𦉰〔前〕…》，
450, 27, 26, u, 8, 絶・徂雪切
𦉰《古文絶象不 | 連體絶二絲》
○なし。見上。
繼《續也从糸𦉰一曰 | 反𦉰爲繼古詣切》
◎繼《〔説文〕續也从 | 糸𦉰聲或作 || 𦉰反
𦉰爲𦉰𦉰古 | 絶字俗作繼非是》，335, 19,
12, o, 4, 計・吉詣切
續《連也从 | 糸賣聲 || 似足 | 切》
◎續《…〔説文〕連也从 | 糸賣聲〔廣韻〕
繼也又〔詩〕…》，417, 25, 22, u, 8, 續・
松玉切
賡《古文續從庚貝臣鉉 | 等曰今俗作古行切》
◎賡《續 | 也 || 〔説文〕賡本古文續字徐鉉
等曰今俗音作古 | 行切又燭韻書乃賡載歌注
本去聲劉音庚》，178, 8, 37, u, 3, 庚・
居行切
○賡《續也〔書〕乃賡載歌加孟切 | 劉皆行
切○今増》，392, 23, 25, u, 6, 更・居孟
切

續《繼也从糸贊 | 聲作管切》
◎續《〔説文〕繼也从糸贊聲集韻 | …》，
260, 13, 24, u, 2, 纂・祖管切
紹《繼 | 也 || 從糸召聲一曰紹 | 緊糾也市沼切》
○紹《…一曰 | 緊糾也〔爾雅〕繼也續紹先
|| 宗諡法疏遠繼位曰紹集 | 韻古作 {邵糸}
…》，270, 14, 16, o, 8, 紹・市紹切
{邵糸}《古文紹 | 從邵》
○紹《集 | 韻古作 {邵糸}》。見上。
[糸羨]《偏緩也从糸 | 羨聲昌善切》
○なし。
[糸盈]《緩 | 也 || (02ウ) 從糸盈聲讀與 |
聽同他丁切》
◎縊《〔説文〕系 | 綬也从 || 糸廷聲〔廣韻〕
絲綬帶縊或作 [[糸盈]]〔説文〕綬也〔廣韻〕
| 又 [糸旨] 屬亦作 [[糸呈]] …》，183, 9,
2, o, 3, 聽・湯丁切
02ウ
[糸呈]《[糸盈] 或 | 從呈》
◎縊《亦作 [[糸呈]]》。見上。
縱《緩也一曰舍也從 | 糸從聲足用切》
◎縱《… | 〔説文〕緩也一曰 || 舍也从糸從
聲〔廣韻〕…》，305, 17, 6, u, 1, 縱・
足用切
紓《緩 | 也 || 從糸予聲 | 傷魚切》
◎紓《〔説文〕緩也从糸予 | 聲一曰解也〔集
韻〕 || 或作 [[糸余]] 念 | 忤通作紓》，71,
3, 7, u, 4, 書・商居切
縊《絲勞也从糸 | 然聲如延切》
○なし。
[糸亏]《𦉰也从糸亏聲一 | 曰縊也億俱切》
◎紆《…〔説文〕𦉰也一曰縊也从糸于聲〔周
禮〕…》，77, 3, 19, u, 5, 紆・邕俱切
[糸幸] || 《直也从糸幸聲 | 讀若陞胡頂切》
○なし。
纖《細也从糸鐵 | 聲息廉切》
○纖《細也〔韓文〕酬盧雲夫詩…○毛氏韻
増》，214, 10, 23, u, 5, 纖・師咸切

[糸囟]《微也從糸囟 | 聲穌計切》

◎細《·〔說文〕 || [糸囟] 微也本作 [糸囟] 从糸囟聲 | 隸作細 [廣韻] 小也 [增韻] 密也》，332, 19, 5, u, 5, 細・思計切

緇《旄絲也從糸苗聲周書 | 曰惟緇有稽武儼切》

◎緇《〔說文〕 旄絲也 | 从糸苗聲》，139, 6, 29, o, 4, 苗・眉鑑切

縵《參縵也從糸 | 差聲楚宜切》

○なし。

縵《冕也從糸 | 番聲附袁 || 切》

○縵《續縵風吹旗也一日絲亂又繹也〔莊子〕…》，116, 5, 19, o, 6, 翻・孚袁切

縮《亂也從糸宿聲一 | 曰蹴也所六切》

◎縮《·〔說文〕 亂也从糸宿聲一日 | 蹴也 [廣韻] …》，411, 25, 10, o, 1, 縮・所六切

紊《亂也從糸文聲商書曰 | 有條而不紊亾運切》 ||

◎紊《〔說文〕 亂也从糸文聲 [書] | 有條而不紊又文韻》，356, 21, 4, o, 2, 問・文運切

級《絲次第也從糸 | 及聲居立切》

◎級《〔說文〕 絲次第也从糸及聲 [廣韻] …》，482, 30, 1, o, 5, 急・訖立切

總《聚束也從糸恩聲臣鉉等 | 曰今俗作捻非是作孔切》

◎總《·〔說文〕 聚束也从糸勿聲一日皆也廣 | 韻合也 [增韻] … | [集韻] 古作 {凶糸} 俗作捻非是○平水韻增…》，216, 11, 4, o, 1, 總・祖動切

{具糸} || 《約也從糸具 | 聲居玉切》

○なし。

約《纏束也從糸 | 勺聲於略切》

◎約《·〔說文〕 纏束也从糸勺聲 [廣韻] …》，454, 28, 3, o, 2, 約・乙却切

縹《纏也從糸奈 | 聲盧鳥切》

◎縹《〔說文〕 纏也从糸奈聲 [集韻] 或作

縹 | [前] 相如賦縹繞玉綏又蕭韻》，270, 14, 16, u, 8, 了・朗鳥切

纏《繞 | 也 || (03 才) 從糸塵聲 | 直連切》

◎纏《· || [說文] 繞也从糸塵 || 聲一日束也又姓 [漢] 藝文志…》，132, 6, 16, u, 6, 纏・澄延切

03 才

繞《纏也從糸堯 | 聲而沼切》

◎繞《〔說文〕 纏也从糸堯聲又姓 || [左傳] 秦大夫繞朝又笑韻》，271, 14, 17, u, 1, 擾・爾紹切

紵《轉也從糸 {人彡} | 聲之忍切》

◎紵《〔說文〕 轉也从糸 {人彡} 聲 [增韻] | 轉繩也捩也 [孟] 紵兄之 || 臂而奪之食又銑 | 韻○禮韻續降》，253, 13, 9, o, 4, 軫・止忍切

[糸冑]《落也 | 從糸 || 冑聲胡 | 吠切》

◎纒《〔說文〕 絡也从糸冑聲前揚雄校獵賦 | 虹蜺爲纒注韋昭曰繫也○今增》，265, 14, 6, o, 3, 紵・胡犬切

辮《交也從糸辨 | 聲頻犬切》

◎辮《·〔說文〕 交也从糸辨聲 [增韻] …》，266, 14, 8, o, 6, 辮・婢典切

結《締也從糸吉 | 聲古屑切》

◎結《·〔說文〕 締也从糸吉聲或 | 作紵 [詩] 采芣注象弭所以解紵又霽韻》，444, 27, 13, o, 1, 結・吉屑切

緝《結也從 | 糸骨聲 || 古忽 | 切》

○なし。

締《結不解也從糸 | 帝聲特⁽¹⁰⁾計切》

◎締《結不解也 [漢] 賈誼過秦論合 | 從締交音締…》，331, 19, 3, u, 1, 第・大計切

縛《束也從糸專 | 聲符鑊切》

◎縛《·〔說文〕 束也从糸專 | 聲 [廣韻] …》，455, 28, 6, u, 1, 縛・伏約切

縶《束也從 | 糸崩聲 || 墨子曰禹葬會稽桐棺 | 三寸葛以縶之補育切》

◎繡《…〔説文〕束也从糸崩聲墨子曰禹葬會稽桐棺三寸葛以繡之〔廣韻〕又束兒衣〔漢書〕…○毛氏韻增》，179, 8, 39, o, 8, 繡・悲萌切

絳《急也從糸求聲詩曰不競不絳巨鳩切》

◎絳《〔説文〕急也徐引詩不競不絳〔集韻〕或作〔糸九〕》，192, 9, 19, u, 4, 求・渠尤切

綱《急引也從糸岡聲古癸切》

◎綱《〔説文〕急引也又〔三墳書〕…》，186, 9, 8, u, 5, 局・涓癸切

〔糸糸〕《散絲也從糸糸聲匹卦切》

○なし。

〔糸羸〕《不均也從糸羸聲力臥切》

○なし。

給《相足也從糸合聲居立切》

◎給《〔説文〕相足也从糸合聲〔廣韻〕…》，482, 30, 1, o, 8, 急・訖立切

綀《止也從糸林聲讀若郴丑林切》

◎綀《〔説文〕止也从糸林聲一曰善也》，204, 10, 4, u, 4, 琛・癡林切

繹《止也從糸畢聲卑吉切》

○繹《〔博雅〕縫也一曰約束也〔周禮〕考工記…○毛氏韻增》，424, 26, 2, o, 7, 必・壁吉切

紉《素也從糸丸聲胡官切》

◎紉《〔説文〕素也从糸丸聲》，122, 5, 31, u, 7, 桓・胡官切

終《絳絲也從糸冬聲職戎切》

◎終《…〔説文〕本作繆絳絲也从糸久隸作終一曰盡也〔易〕…》，33, 1, 13, o, 2, 終・之戎切

久《古文終》

○なし。

〔糸集〕《合也從糸從集讀若捷姊入切》

○なし。

03ウ

繪《帛也從糸曾聲疾陵切》

◎繪《…〔説文〕帛也從糸曾聲〔漢書〕金繪周勃販繪又揚雄以爲漢律祠宗廟丹書告也〔禮記〕…籀作〔糸辛〕》，189, 9, 13, o, 6, 繪・慈陵切

〔糸辛〕《籀文繪從宰省揚雄以爲漢律祠宗廟丹書告》

◎繪《籀作〔糸辛〕》。見上。

絹《繪也從糸胃聲云貴切》

○なし。

紕《綺絲之數也漢律曰綺絲數謂之紕布謂之總綬組謂之首從糸兆聲治小切》

◎紕《〔説文〕綺絲之數也从糸兆聲〔漢律曰綺絲數謂之紕布謂之總綬組謂之首〕》，270, 14, 16, o, 3, 趙・直紹切

綺《文繪也從糸奇聲祛彼切》

◎綺《…〔説文〕繪也从糸奇聲師古曰…》，219, 11, 10, u, 2, 綺・去倚切

穀《細縛也從糸殼聲胡谷切》

◎穀《…〔説文〕細縛也从糸殼聲〔廣韻〕…》，411, 25, 10, u, 4, 穀・胡谷切

縛《白鮮色也從糸專聲持沈切》

◎縛《〔説文〕白鮮色也从糸專聲〔集韻〕或作〔糸夷〕又混霰韻》，265, 14, 5, u, 3, 篆・杜亮切

縑《并絲繪也從糸兼聲古甜切》

◎縑《〔説文〕并絲繪也〔廣韻〕絹也》，209, 10, 14, u, 4, 兼・堅嫌切

綈《厚繪也從糸弟聲杜兮切》

◎綈《〔説文〕厚繪也从糸弟聲》，88, 4, 4, o, 4, 題・田黎切

練《凍繪也從糸東聲郎甸切》

◎練《…〔説文〕練繪也从糸東聲〔廣韻〕…》，371, 22, 12, o, 3, 練・郎甸切

縞《鮮色也從糸高聲古老切》

◎縞《〔説文〕鮮色从糸高聲〔爾雅〕縞皓也〔文選〕雪賦…》，272, 14, 19, u, 8, 杲・古老切

〔糸璽〕《麤緒也從糸璽聲臣鉉等曰今俗別

作絶非是式支切》

◎絶《〔説文〕粗絶也本作〔糸璽〕一曰
繪 | 屬今文作絶〔廣韻〕…○平水增韻,
48, 2, 12, o, 4, 施・商支切

紬《大絲 | 繪也 || 從糸由聲 | 直由切》

◎紬《〔説文〕大絲繪也从糸由 | 聲…》,
195, 9, 25, u, 8, 儔・陳留切

絜《〔才致〕繪也一曰微幟信也 | 有齒從糸〔戶
支〕聲康禮切》

◎絜《〔説文〕絜綴繪也 | 一曰微幟信也从
|| 糸啓省聲一曰肉結處 | …》, 246, 12,
29, o, 5, [肩父]・遣禮切

綾《東齊謂布帛 | 之細曰綾從 || 糸菱聲 | 力膺
切》

◎綾《〔説文〕東齊謂皮帛之細者曰綾〔廣韻〕
| 綾紈也〔增韻〕…》, 190, 9, 16, u, 2,
菱・閭承切

縵《繪無文也从糸曼聲漢律曰 | 賜衣者縵表白
裏莫半切》

◎縵《…〔説文〕繪無文 || 也从糸曼聲漢律
賜衣者縵表白裏又〔莊子〕…》, 362, 21,
16, o, 2, 縵・莫半切

繡《五采備也 | 從糸肅聲 || (04 才) 息救 | 切》

◎繡《〔説文〕 | 五采 || 備也从糸肅聲〔廣韻〕
…》, 396, 24, 8, o, 5, 秀・息救切

04 才

絢《詩云素以爲絢兮從糸旬聲臣 | 鉉等按論語
注絢文兒許掾切》

○絢《…引 | 詩素以爲絢兮從糸 || 旬聲徐按
論語注絢文 | 貌集韻…》, 368, 22, 6, u, 6,
絢・翺縣切

繪 || 《會五采繡 | 也虞書曰 || 山龍華蟲作繪論
語曰繪 | 事後素從糸會聲黃外切》

◎繪《〔説文〕五采繡從糸會聲又畫也 |〔語〕
繪事後素或作〔〔ネ貴〕〕通作會》, 341,
19, 23, o, 4, 會・黃外切

縷《白文兒詩曰縷兮斐兮成 | 是貝錦從糸妻聲
七稽切》 ||

◎縷《〔説文〕帛文貌從糸妻 | 聲又縷斐文
章相錯 || 貌通作妻〔詩〕 | 斐兮斐兮》, 89,
4, 6, o, 3, 妻・千西切

◎縷《帛文貌〔説文〕引詩縷兮斐 | 兮又齊
韻○毛氏韻增》, 247, 12, 32, u, 4, 泚・
此禮切

[糸米]《繡文如聚細米也从糸 | 從米米亦聲
莫禮切》

◎[糸米]《〔説文〕 | 繡文 || 如聚細米從糸
從米米亦聲集韻説文或作〔〔滯米〕〕引書藻
火勸 |〔滯米〕通作米今文尙書…○毛氏韻
增》, 247, 12, 32, o, 2, 米・母禮切

絹《繪如麥〔禾肩〕從糸 | 肩聲吉掾切》

◎絹《…〔説文〕繪如麥〔禾肩〕 | 從糸肩
聲〔廣韻〕…○毛氏韻增》, 368, 22, 5, o,
1, 絹・規掾切

綠《帛 | 青 || 黃色也从糸 | 录聲力玉切》

◎綠《〔説文〕帛青黃色一曰東方之間色〔集
韻〕 | …》, 419, 25, 25, u, 8, 錄・龍玉
切

縹《帛青白色也从 | 糸〔𠂔灭〕聲敷沼切》

◎縹《…〔説文〕 | 帛青白色從糸票聲又 ||
蕭 | 韻》, 268, 14, 12, u, 8, 縹・匹沼切
[糸育]《帛青經縹緯一曰 | 育陽染也从糸育
|| 聲余 | 六切》

○なし。

絳《純赤也虞書丹朱如 | 此從糸朱聲章俱切》

○なし。

縻《淺絳也从糸 | 熏聲許云切》

◎縻 || 《〔説文〕淺絳也从糸熏聲〔考工記〕
…》, 107, 5, 1, u, 7, 熏・許云切

紕《絳 | 也 || 從糸出聲 | 丑律切》

◎紕《〔説文〕 | 縫也 ||〔史〕趙世家…》,
429, 26, 12, u, 4, 出・尺律切

絳《大赤也从糸 | 牟聲古巷切》

◎絳《…〔説文〕大赤也从糸牟聲又地名晉
穆 | 侯遷都於絳〔通志云〕…》, 306, 17, 8,
o, 5, 絳・古巷切

綰《惡也絳也從糸官聲一 | 曰綰也讀若雞卵烏版 || 切》

○綰《…〔説文〕惡也一 | 曰絳也綰也繫也又諫韻》，261, 13, 26, o, 3, 綰・鄔版切
縉《帛赤色也春夏傳縉雲氏禮 | 有縉緣從糸晉聲即刃切》

○縉 || 《〔説文〕帛赤色从糸晉聲引左傳縉雲氏〔廣韻〕…》，350, 20, 18, o, 1, 晉・即刃切

綌《赤繪也以茜染 | 故謂之綌從糸 || (04ウ) 青聲倉 | 絢切》

○綌《赤 | 繪 || 也从茜染故謂之綌从 | 糸青聲〔左傳〕綌莢旃旌》，366, 22, 2, o, 5, 蒨・倉旬切

04ウ

緹《帛丹黃色從糸 | 是聲他禮切》

○緹《〔説文〕帛丹黃色 | 从糸是聲〔周禮〕 || …〔漢〕〔官儀云〕執 | 金吾緹騎二百人説文或作紙又齊韻》，246, 12, 30, u, 8, 體・上⁽¹⁾禮切

祗《緹或 | 從氏》

○なし。

縹《帛赤黃色一 | 染謂之縹再 || 染謂之〔赤至〕三染謂之 | 縹從糸原聲七絹切》

○縹《…〔説 | 文〕帛赤黃色一染謂 || 之縹再染謂之〔赤至〕三染謂之縹从糸原聲〔禮記〕…》，366, 22, 2, o, 8, 縹・取絹切

紫《帛青赤色從糸 | 此聲將此切》

○紫《…〔説文〕帛青 || 赤色从糸此聲〔廣韻〕問色論語注疏…》，229, 11, 29, o, 1, 紫・蔣氏切

紅《帛赤白色 | 從糸工聲 || 戶公 | 切》

○紅《〔説文〕帛赤白色从糸 | 工聲〔增韻〕…》，33, 1, 14, u, 1, 洪・胡公切

〔糸蒨〕《帛青色從糸 | 蒨聲倉紅切》

○なし。

紺《帛深青揚赤色從 | 糸甘聲古暗切》

○紺《…〔説文〕帛深青揚赤色从 | 糸甘聲

〔釋名〕含也謂青而含赤色也》，403, 24, 21, u, 7, 紺・古暗切

〔糸界〕《帛蒼 | 艾色 || 從糸界聲詩縞衣〔糸界〕巾未嫁 | 女所服一曰不借〔糸界〕渠之切》

○綦《〔説 | 文〕 || 本作〔糸界〕。見下。

綦《〔糸界〕或 | 從其》

○綦《〔説 | 文〕 || 本作〔糸界〕帛蒼艾色引〔詩〕縞衣〔糸界〕巾未嫁女所服今文作綦 | 〔廣韻〕…》，44, 2, 4, o, 8, 其・渠之切

縹《帛如繪色或 | 曰深繪從糸 || 梟聲讀若 | 梟親小切》

○縹《〔博雅〕縹謂之縹一 | 曰紺色又豪韻》，274, 14, 23, o, 5, 早・子皓切

参照・○縹《縹繭爲絲从糸巢聲 | 集韻或作〔縹〕〔縹〕〔糸蚤〕 | 又皓韻》，149, 7, 13, u, 4, 騷・蘇曹切

緇《帛黑色也從糸 | 咼聲側持切》

○緇《〔説文〕帛黑也从絲咼聲又〔周禮〕考工記注…》，58, 2, 32, u, 1, 菑・莊持切

纁《帛雀頭色一曰微黑 | 色如紺纁淺也讀若 || 讒從糸皃 | 聲士咸切》

○纁《帛青色又哈韻 | ○毛氏韻增》，214, 10, 24, o, 4, 衫・師銜切

○纁《繪色一入曰纁〔增韻〕雀頭色紫黑色也一曰暫也 | …〔説文〕徐曰古亦用才爲 | 纁始字晉謝鯤傳才小富亦通作裁後馬援傳…》，95, 4, 17, u, 7, 裁・牆來切

参照・繫傳・才《…臣鉉曰…古亦用此爲纁始字又引古文尙書者亦用此爲哉 | 生魄字…》，121, 12, 1, o, 6

〔糸剌〕《帛雕色也從糸剌聲詩曰毳衣如〔糸剌〕 | 臣鉉等曰今俗別作毳非是土敢切》

○〔糸剌〕《〔説文〕帛雕色也从糸剌聲引詩毳衣如〔糸剌〕徐曰此帛 | 色名染之如生莢色今人所染麥綠也蓋此莢亦名 || 爲雕非獨其色也〔廣韻〕… | …〔説文〕俗作毳非》，

298, 16, 19, u, 6, 莢・吐敢切

[糸戾] || 《帛艾艸染色從 | 糸戾聲郎計切》

◎ [糸戾] 《〔說文〕帛艾草染色从糸戾聲〔廣韻〕…》，334, 19, 10, o, 4, 麗・郎計切

紕《白鮮衣兒從糸不聲詩 | 日素衣其紕匹丘切》

○紕《〔詩〕絲衣其紕注衣鮮潔 | 貌…》，

202, 9, 39, u, 6, 鴉・方鳩切

綌《白鮮衣 | 兒從糸 || (05才) 炎聲謂衣采色 | 鮮也充多切》

○なし。

05才

繻《繪采色從糸需聲讀若易繻有衣 | 臣鉉等曰漢書傳符帛也相兪切》 ||

◎繻《〔說文〕繪采也徐曰傳符帛一說帛邊 | 漢制以爲關門符信〔前〕終軍傳…》，76,

3, 17, u, 8, 須・詢趨切

縲《繁采色也從糸 | 辱聲而蜀切》

◎縲《〔說文〕繁采色也从糸 | 辱聲〔增韻〕又細也》，419, 25, 26, o, 8, 辱・如欲切

纒《冠織也從糸 | 麗聲所綺切》

◎纒《〔說文〕冠織也从糸麗 | 聲謂以緇帛韜髮〔禮 || 記〕檀弓…》，230, 11, 32, o, 6, 躍・所綺切

紃《冠卷也從糸 | 㠩聲戶萌切》 ||

◎紃《〔說文〕冠卷也一曰纓 | 从下而上者纓無紃 || 者从下仰屬於冠又淮南子九州之外有 | 八紘八紘之外有八紃集韻或作〔[紘口]〕〔紘〕》，181, 8, 44, u, 6, 宏・乎盲切

紕《紃或 | 從弘》

◎紃《〔集韻〕或作〔[蛭口]〕〔紘〕》。見上。

紕《冕冠塞耳者從糸尤聲臣鉉等 | 曰今俗別作髭非是都感切》

◎紕《〔說文〕冕冠塞耳者从糸尤聲〔詩〕 | …》，298, 16, 19, o, 5, 黠・都感切

纓《冠系 | 也從 || 糸嬰聲 | 於盈切》

◎纓《〔說文〕冠系也又鞶纓〔左傳〕 | 注纓在馬膺前如索〔君中〕》，177, 8, 35, o,

4, 嬰・伊盈切

紃《纓卷也從糸 | 央聲於兩切》

○なし。

綌《系冠纓也從糸 | 委聲儒佳切》

◎綌《〔說文〕系冠纓从糸委聲〔內則〕…》，

63, 2, 42, u, 1, 猗・儒佳切

緄《織帶 | 也從 || 糸昆聲 | 古本切》

◎緄《〔說文〕帶也織帶也〔後〕南匈奴傳…》，

256, 13, 15, u, 1, 袞・古本切

紳《大帶也從糸 | 申聲失人切》

○なし。

縹《帶緩也從糸 | 單聲昌善切》

◎縹《〔說文〕 | 帶緩 || 也从糸單 | 聲又霰韻》，264, 14, 3, u, 6, 闌・齒善切

綌《韞維也 | 從糸受 || 聲殖 | 酉切》

◎綌《〔說文〕韞維也从糸受聲應劭漢官儀曰…》，292, 16, 7, o, 7, 受・是酉切

組《綌屬其小者以爲冕 | 纓從糸且聲則古切》

◎組《〔說文〕綌屬小者以爲冕纓从糸且聲〔詩詁〕 | 〔云〕…》，241, 12, 20, u, 4, 祖・總古切

緇《綌紫青也從糸 | 𠂔聲古蛙切》

◎緇《〔說文〕綌 | 紫青也 || 又戈麻 | 韻注》，92, 4, 11, u, 3, 𠂔・公蛙切

◎緇《〔說文〕綌青紫色从 | 糸𠂔聲又佳歌韻》，156, 7, 27, o, 3, 瓜・姑華切

○緇《綌文又 | 佳麻韻》，153, 7, 21, u, 6, 戈・古禾切

緇 || 《綌維也從糸 | 逆聲宜戟切》

◎緇《〔說文〕綌維也从糸逆聲〔漢書〕古佩 | 襜也〔前〕翟方進傳…》，466, 28, 28, o, 6, 逆・宜戟切

纂《似組而赤從糸 | 算聲作管切》

◎纂《…〔說文〕似 | 組而赤从糸算聲〔前〕景 | 帝紀…》，260, 13, 24, u, 1, 纂・祖管切

紕《系也一曰結而可 | 解從糸丑聲女久 || (05ウ) 切》

◎紐《〔説文〕糸 | 也从糸丑聲〔廣韻〕結也》，291, 16, 5, u, 4, 紐・女九切

05 ウ

綸《青絲綬也從糸 | 侖聲古還切》

◎綸《〔説文〕青絲綬從糸侖聲〔禮 | 記〕…》，101, 4, 29, o, 8, 倫・龍春切

綖《系綬也從糸 | 廷聲他丁切》

◎綖《〔説文〕糸 | 綬也从糸廷聲〔廣韻〕絲綬帶綖也或作〔糸盈〕〔説文〕綬也〔廣韻〕 | …》，183, 9, 2, o, 3, 聽・湯丁切

𢇛《緩也從糸 | 亘聲胡官 || 切》

○𢇛《緩也○平 | 水韻増》，122, 5, 31, u, 2, 𢇛・胡官切

縵《細疏布也從糸 | 惠聲私銳切》

◎縵《〔説文〕細疏布也从糸惠聲一 | 曰布縵細也〔荀子〕…》，336, 19, 14, o, 6, 歲・須銳切

暴《頸連也從糸暴 | 省聲補各切》

○なし。

緱《刀劒緱 | 也從糸 || 侯聲古 | 侯切》

◎緱《〔説文〕刀劒緱也〔廣韻〕…》，199, 9, 34, o, 4, 鉤・居侯切

紆《衣系也從糸 | 今聲居音切》

◎紆《〔説文〕衣系也〔廣韻〕衣小帶也 | 〔籀作〕〔糸金〕○舊韻出紆今正》，203, 10, 1, o, 8, 金・居吟切

〔糸金〕《籀文 | 從金》

◎紆《〔籀作〕〔糸金〕》。見上。

緣《衣純也從糸 | 彖聲以絹切》 ||

◎緣《〔説文〕衣純也从糸彖聲〔禮記〕…》，369, 22, 7, u, 3, 掾・兪絹切

縠《裳削幅謂之縠從 | 糸僕聲博木切》

◎縠《〔説文〕裳削幅也从糸僕聲 | 〔爾雅〕裳削幅謂之縠郭璞曰 | 削殺其幅深衣之 | 裳集韻或作縠縠》，408, 25, 4, u, 1, 卜・博木切

袴《脰衣也從糸 | 夸聲苦故切》

◎袴《〔説文〕脰衣也本作〔袴〕從糸夸聲

或作袴…》，326, 18, 15, u, 2, 庫・苦故切

綯《綯紐也從 | 糸喬聲牽 || 搖 | 切》

○なし。

緹《小兒衣也從糸保聲臣鉉等 | 曰今俗作褌非是博抱切》

◎緹《〔説文〕小兒衣也从糸保聲李奇 | 曰小兒大藉齊人名小兒被爲 || 褌即楊也〔詩〕…》，273, 14, 22, o, 7, 寶・補抱切

〔糸尊〕《歲時中女子無 | 綯以帛爲脰空 || 用絮補核名曰〔糸尊〕衣狀如 | 襜褕從糸尊聲子昆切》

○なし。

〔糸皮〕《條屬從糸皮聲讀若被或 | 讀若水波之波博禾切》 ||

○なし。

條《扁緒也從糸 | 攸聲土刀切》

◎條《〔説文〕扁緒也从糸攸聲〔廣韻〕…》，147, 7, 9, o, 6, 饗・他刀切

〔糸戎〕《采彰也一曰車馬飾 | 從糸戎聲玉伐切》

◎〔糸戎〕《〔説文〕采彰也一曰 | 車馬飾從糸戎聲 || 一曰 | 細布》，434, 26, 21, u, 2, 越・玉伐切

縱《〔糸戎〕屬從 | 糸從從 || （06才）省聲足 | 容切》

○なし。

06 オ

紉《圓采也從糸 | 川聲詳遵切》

◎紉《〔説文〕圓 | 采也从糸川聲〔雜記〕…》，100, 4, 27, o, 2, 旬・松倫切

緼《増益也從糸 | 重聲直容切》

○なし。

褌《援臂也 | 從糸褌 || 聲汝 | 羊切》

○褌《佩帶一曰 | 馬腹帶》，168, 8, 18, u, 7, 褌・思將切

繡《維綱中繩從糸嵩聲讀 | 若畫或讀若維戶圭切》

○なし。

綱《維紘繩也從糸 | 岡聲古郎切》 ||

○綱《〔說〕 | 〔文〕 || 維紘繩也从糸岡聲〔語〕
…集韻古作 [木么]》，160, 8, 1, o, 5, 岡・
居郎切

杵《古文 | 綱》

○綱《集韻古作 [木么]》。見上。

縝《持綱紐也從糸員聲周禮曰縝 | 寸臣鉉等曰
縝長寸也爲贊切》

○縝《〔說文〕持綱紹者〔周禮〕考工記…》，
106, 4, 40, u, 3, 筠・于倫切

○縝《持 | 綱 || 繩也〔說文〕芟也謂茅 | 根
一曰藕梢又眞韻》，254, 13, 12, u, 4, 隕・
羽敏切

縵《絳綫 | 也從 || 糸侵省聲詩曰貝 | 胄朱縵子
林切》

○縵《〔說文〕絳綫也从糸侵省 | 聲詩貝胄
朱縵又鹽韻》，204, 10, 3, o, 4, 侵・千
尋切

縷《綫也從糸婁 | 聲力主切》

○縷《・ || 〔說文〕綫也从糸婁 || 聲》，
245, 12, 28, o, 4, 縷・隴主切

綫《縷也從糸芟 | 聲私箭切》 ||

○綫《〔說文〕縷也本作〔綫〕。見下。

線《古文 | 綫》

○線《・ || 〔說文〕縷也本作〔綫〕从糸芟聲
古文作線今从古〔周禮〕 | …》，367, 22, 3,
o, 1, 線・私箭切

[糸穴]《縷一枚也從糸 | 穴聲乎決切》

○なし。

縫《以鍼紩衣也從 | 糸逢聲符容切》

○縫《〔說文〕以鍼紩衣也从糸逢 | 聲〔詩〕
…》，37, 1, 21, u, 1, 逢・符容切

縫《〔縵衣也從糸 | 韋聲七接切》

○縫 || 《〔說文〕縵衣也从糸韋聲漢賈誼傳
… | …集韻或作 [糸習]》，489, 30, 15, o,
7, 妾・七接切

[糸習]《縫或 | 從習》

○縫《集韻或作 [糸習]》。見上。

紩《縫也從糸失 | 聲直質切》

○紩《縫 | 也》，426, 26, 6, u, 3, 秩・
直質切

縵《衣戚也從 | 糸戛聲而 || 沈 | 切》

○なし。

[糸旦]《補縫也從糸 | 旦聲丈莧切》

○なし。

繕《補也從糸 {羊言} | 聲時戰切》

○繕 || 《・ || 〔說文〕補也从糸善聲又〔左傳〕
…》，371, 22, 11, o, 2, 繕・時戰切

[糸舌]《論語曰[糸舌]衣 | 長短右袂從 || (06
ウ) 糸舌聲 | 私列切》

○なし。

06ウ

纍《綴得理也一曰大索 | 也從糸晶聲力追切》

○纍《・ || 〔說文〕綴得理也从 || 糸晶聲〔禮
記〕…》，63, 2, 41, u, 6, 纍・倫追切

縵《以絲介履也從 | 糸离聲力知切》 ||

○縵⁽¹²⁾《〔說文〕以絲介履也从 | 糸离聲○毛
氏韻增》，53, 2, 21, o, 6, 離・鄰知切

緊《戟衣也從糸毆聲一 | 曰赤黑色繪烏雞切》

○緊《〔說 | 文〕 || 戟衣也一曰赤黑繪通作
鷺〔周禮〕…》，90, 4, 7, o, 6, 鷺・煙
奚切

縵《旌旗之游也從 | 糸參聲所銜切》

○縵《〔說 | 文〕 || 旌旗之旂也从糸參聲〔周
禮〕…》，214, 10, 24, o, 1, 攢・師咸切

微《衺幅 | 也一 || 曰三糾繩也从糸 | 微省聲許
歸切》

○微《〔說文〕衺幅也一曰三 | 糾繩也又美
也〔詩〕…》，67, 2, 50, u, 4, 暉・吁韋
切

{折糸}《扁緒也一曰弩 {要月} 鉤 | 帶從糸
折聲并列切》

○なし。

紉《繹繩也 | 從糸刃 || 聲女 | 鄰切》

○紉《・ || 〔說文〕繹繩也从糸刃聲〔楚 || 辭〕

…》，101，4，30，u，6，紉・泥鄰切

繩《索也從糸蠅 | 省聲食陵切》

◎繩《〔説文〕索也从糸 | 蠅省聲〔廣韻〕又直也〔増韻〕…》，189，9，14，u，2，繩・神陵切

〔糸爭〕《〔糸弓〕朱縈繩一曰急弦之聲 | 從糸爭聲讀若旌側莖切》 ||

◎綯《〔説文〕紆朱縈繩也本作〔〔糸爭〕〕今文作綯〔禮記〕 | …》，180，8，41，o，2，爭・菑莖切

縈《收輦也從糸熒 | 省聲於營切》

◎縈《〔説文〕收輦也 | 〔廣韻〕…》，181，8，44，o，4，縈・娟營切

紃《纏繩也從糸句 | 聲讀若鳩其俱切》

◎紃《〔説 | 文〕 || 纏繩也從糸句聲◇〔禮記〕玉藻…》，74，3，14，o，5，紃・權俱切

縋《以繩有所縣也 || 春秋傳曰夜縋納師 | 從糸追聲持僞切》

◎縋《〔説文〕以繩有所縣也引春秋傳夜縋納 | 師從糸追聲集韻或作〔〔糸耒〕〕》，317，17，29，u，4，縋・馳僞切

〔糸采〕《攘臂繩也從糸 | 〔糸采〕聲居願切》

○〔糸采〕 || 《攘臂繩又 | 線諫燭韻》，358，21，7，u，3，券・區願切

○〔糸采〕《攘臂 | 繩》，371，22，12，u，4，眷・古倦切

○〔糸采〕《攘臂繩也又曲也又僂 | 願霰諫韻○毛氏韻増》，417，25，21，u，5，拳・拘玉切

緘《束篋也從 | 糸咸聲古 || 咸 | 切》

◎緘《〔説文〕束篋也从糸咸聲〔廣韻〕緘封也 | 又〔廣雅〕…》，213，10，21，u，1，緘・居咸切

滕《緘也從糸〔舟弁〕 | 聲徒登切》

◎滕《〔説文〕緘 | 也〔書〕金 || 滕注緘之以金正義曰束也〔喪大記〕…》，187，9，10，o，4，騰・徒登切

編《次簡也從糸 | 扁聲布玄切》

◎編《〔説文〕次簡 | 也字林以 || 繩次物又列也又〔穀梁傳〕…》，125，6，2，u，5，邊・卑眠切

維《車蓋維也從 | 糸佳聲以追 || （7才）切》

◎維 || 《〔説文〕車蓋維也从糸佳聲一曰網綱也又繫也又方隅也又 | 太歲在巳曰屠維又通爲語辭也詳見惟字下注又冬韻》，54，2，24，u，5，惟・夷佳切

07才

紕《車紕也從糸 | 伏聲平祕切》

○なし。

苻《紕或 | 從艸》

○苻《苻苓藥草○ | 平水韻増》，410，25，7，o，4，伏・房六切

〔革荀〕《紕或從 | 革荀聲》

○韠《韠韐 | 盛箭 || 室通作步又一名箠又 | 賓屋韻○毛氏韻増》，327，18，17，u，8，步・蒲故切

〔糸正〕《乘輿馬 | 飾也從 || 糸正聲 | 諸盈切》

◎〔糸正〕《〔説文〕乘輿 | 馬飾也》，175，8，31，u，6，禎・知盈切

〔糸夾〕《〔糸正〕〔糸夾〕也從糸 | 夾聲胡頰切》

◎〔糸夾〕《〔説文〕〔糸正〕 | 〔糸夾〕也》，490，30，18，o，1，協・撒頰切

〔每糸〕《馬髦飾也從糸每聲春秋 | 傳曰可以稱旌〔每糸〕乎附袁 || 切》

○繁《馬髦上飾〔左傳〕… | …集韻或作〔每糸〕亦作〔糸弁〕籀作〔〔糸界〕〕…》，121，5，29，u，5，盤・蒲官切

〔糸界〕《繁或從弁 | 弁籀文弁》

○繁《集韻或作〔每糸〕亦作〔糸弁〕籀作〔〔糸界〕〕。見上。

經《馬經也從糸 | 薑聲居良切》

◎經《〔説文〕經也本作〔經〕今文作韁〔釋 | 名〕疆也不出疆限也亦曰韁》，168，8，17，o，2，薑・居良切

紛《馬尾韜也從糸 | 分聲撫文切》 ||

○紛《〔説文〕馬尾韜也从糸分聲 | 一曰眾也又紛紛亂也》，109, 5, 5, u, 6, 芬・敷文切

紂《馬縵也从糸肘 | 省聲除柳切》

○紂《…〔説文〕馬 | 縵也从糸肘省聲〔方言〕…》，292, 16, 7, o, 3, 紂・丈九切

縵《馬紂也从糸 | 酋聲七由切》

○縵 || 《〔説文〕馬紂也从糸酋聲〔周禮〕考工記…○禮韻本出鞞字○今正》，193, 9, 22, o, 5, 秋・雌由切

絆《馬繫也从糸 | 半聲博漫切》 ||

○絆《〔説文〕馬繫也从糸半聲〔廣韻〕…》，362, 21, 15, o, 5, 半・博漫切

𦍋《絆前兩足也从糸須聲漢 | 令蠻夷卒有𦍋相主切》

○なし。

紉《牛系也从糸引聲 | 讀若弋直引切》 ||

○紉《…〔説文〕牛系也 || 从糸引聲〔周禮〕…》，253, 13, 9, u, 6, 紉・丈忍切

紉《以長繩繫牛也從 | 糸旋聲辭戀切》

○なし。

縻《牛轡也从糸 | 麻聲靡爲切》

○縻《〔説文〕牛轡也一曰繫也〔集韻〕或作〔糸多〕…》，61, 2, 37, u, 6, 縻・忙皮切

〔糸多〕《縻或 | 從多》

○縻《〔集韻〕或作〔糸多〕》。見上。

𦍋 || 《系也从糸吉聲春秋傳 | 曰臣負羈𦍋私列切》

○𦍋《〔説文〕系也从糸世聲〔廣韻〕…或作𦍋〔左傳〕臣負羈𦍋〔論語〕縶 | 𦍋之中亦作縶…》，446, 27, 17, o, 4, 薛・私列切

縶《𦍋或 | 從𦍋》

○縶《亦作縶》。見上。

〔糸黑〕《索也从糸黑 | 聲莫北切》

○縶《〔説文〕索也本作〔〔糸黑〕〕从糸黑聲或作〔縶〕〔增 | 韻〕…》，478, 29, 16,

u, 1, 墨・密北切

縶 || (07ウ)《大索也一曰急也 | 從糸恆聲古恆切》

○縶《〔説文〕大索也〔集韻〕…》，187, 9, 9, u, 1, [才恆]・居曾切

07ウ

縶《縶也从糸喬 | 聲余聿切》

○縶《〔説 | 文〕 || 縶也从糸喬聲〔方言〕…集韻古作〔〔縶糸〕〕籀作〔𦍋〕》，428, 26, 9, u, 7, 聿・以律切

〔縶糸〕《古文 | 從絲》

○縶《集韻古作〔〔縶糸〕〕》。見上。

𦍋《籀文 | 縶》 ||

○縶《集韻古作〔〔縶糸〕〕籀作〔𦍋〕》。見上。

縶《汲井縶也从糸 | {丙支} 聲古杏切》

○縶《〔説文〕汲井縶从糸更聲〔廣韻〕井索〔方言〕…》，287, 15, 24, o, 7, 梗・古杏切

〔糸有〕《彈彊也从糸有聲 | 弋宰切又古亥切》

○なし。

{敷糸}《生絲縶 | 也从糸 || 敷聲之 | 若切》

○縶《〔説文〕生絲縶也从糸敷聲〔廣韻〕…》，453, 28, 2, u, 1, 灼・職略切

縶《縶謂之置置謂之𦍋𦍋謂之𦍋 | 捕鳥覆車也从糸辟聲博尼切》

○縶《〔爾雅〕縶謂之置 | 今覆車鳥網也》，473, 29, 5, o, 8, 壁・必歷切

縶《釣魚 {敷糸} | 也从糸 || 昏聲吳人解衣相 | 被謂之縶武巾切》

○縶《〔説文〕 | 釣魚 || {敷糸} 也本作縶今文作縶〔詩〕維絲伊縶又吳人解衣相被 | 謂之縶〔詩〕…》，102, 4, 32, u, 6, 珉・眉貧切

絮《敝縣也从糸 | 如聲息據切》

○絮《…〔説 | 文〕 | 〔文〕敝縣也从糸如聲徐 || 曰精者曰綿繭內衣護蛹者與其外膜緒 | 雜爲之曰絮一曰冒絮頭上巾也又本韻》，322,

18, 7, u, 5, 絮・息據切
絡《絮也一曰麻未 | 漚也從糸各聲 | 盧各 | 切》
○絡《〔説文〕絮也一 | 曰麻未漚也 | 從糸各聲〔廣韻〕…》，460, 28, 16, o, 1, 洛・歷各切
續《絮也從糸廣聲春秋傳 | 曰皆如挾續苦謗切》
○續《〔説文〕絮 | 也从糸 | 廣聲引左傳三軍之士皆如挾續〔廣韻〕…或作〔統〕》，390, 23, 21, u, 1, 曠・苦謗切
統《續或 | 從光》
○續《或作〔統〕》。見上。
紙《絮一苦 | 也從糸 | 氏聲諸 | 氏切》
○紙《…〔説 | 文〕絮一苦也从糸氏聲古人書於帛故裁其邊幅如絮之一 | 苦〔釋名云〕…》，221, 1, 14, o, 4, 紙・掌氏曰⁽¹³⁾
〔糸音〕《治敝絮也從糸 | 音聲芳武切》
○なし。
{奴糸}《絜縕也一曰敝絮從糸 | 奴聲易曰需有衣 {奴糸} 女 || 余 | 切》
○なし。
繫《繫〔糸虎〕也一曰惡絮 | 從糸𢇛聲古詣切》
○繫《〔説文〕繫〔糸虎〕也一曰維也从糸𢇛聲一 | 曰惡絮或作〔𢇛〕〔周禮〕…》，335, 19, 12, o, 5, 計・吉詣切
〔糸虎〕《繫〔糸虎〕也一曰維也 | 從糸虎聲郎兮切》
○なし。
緝《績 | 也 || (08 才) 從糸耳聲 | 七入切》
○緝《…〔説文〕績也从糸耳聲西州人 | 謂績爲緝〔増韻〕又績也〔詩〕…》，482, 30, 2, o, 3, 緝・七入切
08 才
紋《績所緝也從糸 | 次聲七四切》
○紋《〔説文〕績所緝也 | 一曰稅布也》，313, 17, 21, u, 4, 次・七四切
績《緝也從糸責 | 聲則歷切》
○績《…〔説文〕緝也從糸責聲〔詩〕八月載 | 績注麻事也〔詩詁〕…》，473, 29, 6,

o, 6, 績・則歷切
縕《布 | 縕 || 也從糸盧 | 聲洛乎切》
○縕 || 《〔説文〕布縕也 | 〔孟子〕妻辟縕》，86, 3, 38, o, 2, 盧・籠都切
紬《布也一曰麤紬從 | 糸付聲防無切》
○紬《〔説文〕布 | 也一曰 || 麤紬从糸付聲〔廣韻〕細 | 布文選作敷○今増》，82, 3, 30, u, 1, 敷・芳無切
〔糸彗〕《蜀細布也從糸 | 彗聲祥歲切》 ||
○なし。
絺《細葛也從糸 | 希聲丑脂切》
○絺《…〔説 | 文〕細葛从糸希聲細 || 曰絺麤 | 曰綌》，48, 2, 11, o, 1, 絺・抽遲切
綌《麤葛也從糸 | 谷聲綺戟切》
○綌《〔説文〕綌粗葛也从糸谷聲谷音其虐切 | 與山谷字不同〔集韻〕或作〔綌口〕亦作〔巾谷〕》，466, 28, 28, o, 1, 隙・乞逆切
〔巾谷〕《綌或 | 從巾》
○綌《〔集韻〕或作〔綌口〕亦作〔巾谷〕》。見上。
縐《絺之 | 細也 || 詩曰蒙彼縐絺一曰蹴 | 也從糸芻聲側救切》
○縐《… | 〔説文〕絺之細也一 | 曰蹴也从糸芻聲〔詩〕蒙彼縐絺絺 | 之靡者爲縐箋云蹙蹙者又縮也》，400, 24, 16, u, 7, 縐・側救切
綌《細布也從糸 | 全聲此緣切》
○綌《〔説文〕細布也通作荃〔前〕江都王 | 傳…》，128, 6, 7, o, 8, 詮・遂緣切
紵《縐屬細者 | 爲綌麤者 || 爲紵從糸從 | 宁聲直呂切》
○紵《〔説文〕縐屬細者爲綌粗者爲紵从糸宁聲〔詩〕…〔説文〕或作〔紵〕俗作苧誤》，236, 12, 9, o, 8, 宁・丈呂切
紵《紵或從 | 緒省》
○紵《〔説文〕或作〔紵〕》。見上。
〔糸恩〕《十五升布也一曰兩麻一 | 絲布也從

糸思聲息茲切》 〓

○縹《〔說文〕十五升布一 | 曰兩麻一絲布又 〓 謂之縹〔儀禮〕…集韻古作〔糸思〕或作 〓 𠂔 𠂔 〓》，56, 2, 28, u, 8, 思・新茲切

𦃟《古文縹 | 從糸省》

○なし。縹《集韻古作〔糸思〕或作 〓 𠂔 𠂔 〓》。見上。

縹《細布也從糸 | 易聲先擊切》

○縹《〔說文〕細布也从糸易聲〔集 | 韻〕或作 〓 〔麻易〕 〓 通作縹〔漢〕…》，473, 29, 6, u, 8, 縹・先の切
〔麻易〕《縹或 | 從麻》

○なし。見上。

〔糸兪〕《〔糸兪〕 貨布也 | 從糸兪聲 〓 度侯 | 切》

○なし。

縹《服衣長六寸博四寸直 | 心從糸衰聲倉回切》

○縹《〔說 | 文〕 〓 服衣長六寸博四寸直心從糸衰聲縹之言摧也言中摧痛 | 也〔左傳〕…》，97, 4, 22, u, 6, 崔・倉回切

經《喪首戴也從糸至 | 聲臣鉉等曰當從 〓 (08ウ) 姪省乃得 | 聲徒結切》

○經 〓 《〔說文〕喪首戴也从糸姪省聲〔禮記〕…》，448, 27, 22, u, 8, 姪・徒結切

08ウ

縹《交𦃟也一日縹衣也 | 從糸便聲房連切》

○縹《…〔說 | 文〕交𦃟也一日縹 〓 衣也从糸便聲〔漢〕賈誼策…》，132, 6, 15, o, 8, 縹・蒲眠切

〔糸糸〕《履也一日青絲 | 頭履也讀若阡 〓 陌之陌從糸 | 戶聲𠂔百切》

○なし。

〔糸封〕《𦃟履也從糸 | 封聲博蟻切》

○〔糸封〕《〔說文〕𦃟履也从糸封聲一日小 | 兒皮履〔荀子〕菲〔糸封〕履集韻亦書 〓 作 〓 〔封糸〕又陽講韻 〓 〓 毛氏韻增》，216, 11, 3, u, 3, 琫・補孔切

縹《履兩枚也一日縹也 | 從糸從兩兩亦聲力 〓 讓 | 切》

○縹《〔說文〕履兩枚也从糸兩聲履 | 兩枚爲縹一日縹〔糸爽〕縹也通 〓 作兩詩葛履 | 五兩一音兩》，284, 15, 18, u, 8, 兩・里養切

縹《麻一耑也從糸 | 〔𦃟刀〕聲古屑切》

○縹《〔說文〕麻一耑 | 也从糸〔𦃟刀〕聲 〓 又〔禮記〕大學…》，444, 27, 13, o, 3, 結・吉屑切

縹《𦃟之十縹也一日縹 | 縹從糸𦃟聲武彪切》

○縹《…𦃟之十 | 縹也一日縹縹又有韻》，193, 9, 21, o, 7, 縹・莫彪切

縹《縹 | 也 〓 從糸周聲 | 直由切》

○縹《〔說文〕縹縹也〔廣韻〕縹縹猶 | 縹綿也〔詩〕縹縹束薪〓禮 〓 韻續 | 降》，195, 9, 25, u, 6, 縹・陳畱切

縹《縹也從糸盞 | 聲於云切》

○縹《〔說文〕 | 縹也 〓 從糸盞聲一日亂 | 麻又元吻問韻》，108, 5, 4, u, 8, 縹・於云切

縹《亂糸也從糸 | 弗聲分勿切》

○縹 〓 《〔說文〕亂糸也從糸弗聲〓 | 禮韻續降〓舊注絲也誤》，430, 26, 14, u, 3, 弗・分勿切

〔糸并〕《氏人 | 殊縹 〓 布也從糸并 | 聲北萌切》

○縹《〔說文〕氏人殊縹布也从糸并 | 聲又以繩直物曰縹〔廣韻〕…》，179, 8, 39, u, 3, 縹・悲萌切

縹《氏人〔糸𦃟〕也讀若禹貢玼 | 珠從糸比聲卑履切》

○縹《…繪欲壞也〔增 〓 韻〕…》，45, 2, 6, o, 8, 縹・篇夷切

○縹《邊飾謂之縹〓〔禮記〕…》，45, 2, 6, u, 5, 毗・頻脂切

○縹《〔爾雅〕飾也〔詩〕…〓毛氏韻增》，308, 17, 11, u, 8, 鼻・毗至切

〔糸屬〕《西胡毳布 | 也從糸屬 || 聲居 | 例切》

◎〔糸屬〕《〔説文〕西胡毳布从糸屬聲〔廣韻〕…》，330, 19, 1, o, 4, 屬・居例切

縕《經也从糸益聲春秋 | 傳曰夷姜縕於賜切》

◎縕 || 《…〔説文〕經也从糸益 | 聲引左傳夷姜縕〔廣韻〕…》，311, 17, 17, u, 6, 縕・么易切

綏《車中把也從糸從妥 | 徐鍇曰禮升車必正 || 立執綏所以安也當從爪從 | 安省説文無妥字息遺切》

◎綏《…〔説文〕車 | 中靶也从糸从爪从安省徐 || 曰升車必正立執綏所以安也綏者所執轡之總一云綏退 | 也司馬法將軍死綏〔魏書〕…》，62, 2, 39, o, 5, 綏・宣佳切
彝《宗廟常器也從糸系綦 | 也升持米器中實也互 || （09才）聲此與爵相似周禮六彝雞彝鳥彝黃彝 | 虎彝蜼彝斚彝以待裸將之禮以脂切》

◎彝《〔説文〕 | 宗廟 || 常器也從糸系綦也升持米器中實也从互象形與爵相似 | 互聲會意又〔周禮〕…集韻古作〔彝〕〔𩚑〕〔角絲〕…》，52, 2, 19, u, 1, 夷・延知切

09才

彝𩚑《皆古 | 文彝》 ||

◎彝《集韻古作〔彝〕〔𩚑〕》。見上。

緻《密也從糸致 | 聲直利切》 ||

◎緻《…〔説文〕密也从糸致聲 | 或作〔致〕〔禮記〕…》，310, 17, 15, o, 5, 緻・直

利切

文二百四十八 重三十一 ||

注1 『説文入門』（頼惟勤監修・説文会編，大修館書店，1983）を参照した。

注2 花登正宏「古今韻会舉要所引説文解字考—とくに卷二十五について—」（『人文研究』第3巻第4分冊，大阪市立大學文學部，1986，後『古今韻会舉要—中國近世音韻史の一側面—』（汲古書院，1997）所収）

注3 中前千里「『古今韻会舉要』に引く『説文解字』について」（『漢語史の諸問題』（京都大學人文科學研究所，1988））

注4 住谷芳幸「説文解字繫伝索引」（『文化情報研究誌』Vol. 19 No. 1, 岐阜女子大学，2017）

注5 『説文入門』（頼惟勤監修・説文会編，大修館書店，1983, p 37）

注6 花登正宏「古今韻会舉要所引説文解字考—とくに卷二十五について—」（『人文研究』第3巻第4分冊，大阪市立大學文學部，1986, p 336）

注7 中華書局，1987年10月（2011年7月重印）

注8 中文出版社，1990年7月再刊

注9 もちろん，一行に収まらない注記もある。

注10 持を訂正か。

注11 土の誤りか。

注12 縕の誤り。

注13 切の誤り。

